

平成 27 年度国際協力報告会（関西地区）

平成 28 年 2 月 24 日（水）、当国際ボランティア支援事業部の賛助会員並びに NGO 海外援助活動助成団体や国際ボランティア貯金の寄附金配分を受けた NGO の代表者やスタッフ、また一般の方々を対象とした第 5 回目の国際協力報告会関西地区を、大阪・梅田の「大阪第一ホテル」にて開催しました。



初めに、海外の開発途上地域に対して、ODA（Official Development Assistance：政府開発援助）の実施により、その地域の発展に協力している独立行政法人国際協力機構（JICA）関西国際センター 市民参加協力課 白井宏明様より、「JICA の NGO 支援事業」と題し、ご講演をいただきました。

はじめに、JICA が行っている草の根技術協力事業について、ご説明をいただきました。この事業は、2015 年度募集開始案件から、大幅に制度を見直し、JICA 関西が所管する関西地方 2 府 4 県で、4 案件を採択したとのこと。またこの事業で重視する 3 つのポイント（人を介した「技術協力」・開発途上の人びとの生活改善や生計向上に直接役立つ活動・

日本の市民の国際協力に対する理解や参加を促す機会作り)にも触れ、「ものをあげる」「お金をあげる」だけで終わる事業にならないことが大切だということを周知されていました。次に、NGO 向けに行っている研修を紹介いただきました。プロジェクト運営から団体が抱える課題の解決に向けたアドバイザーの派遣、組織力アップへの組織課題などへの対応と言った、様々にニーズに対応しているこの制度について知ることができました。

次に平成 27 年度 NGO 海外援助活動助成団体である「特定非営利活動法人国際エンゼル協会」事務局長 東村悦三様より、「国際エンゼル協会 歩み」と題し、ご講演をいただきました。長年にわたる活動を始めるきっかけ、その後現地のニーズに合った支援を継続して提供している活動内容など、現地でのスライドを交え、詳細なご報告をいただきました。国際エンゼル協会様が現地で行ってきた児童養護施設の運営・教育支援・女性の自立支援の活動が、子どもたちや女性たちに与えた影響を、写真から見てとれる笑顔や真面目に勉強する様子などから、大いに知ることができました。



当財団 朝日理事長挨拶



独立行政法人 国際協力機構
関西国際センター 田井様



特定非営利活動法人
国際エンゼル協会 東村様



また過去のボランティア貯金の寄附金の配分や NGO 海外援助活動助成事業で行われた事業につきましてもご報告いただき、現在もその事業が継続され、役立っていることを知り、非常にうれしく思いました。

報告会終了後、参加者の方々と意見交換会を行いました。援助活動の苦勞や喜び、現地の情報や助成などに関して、お互いに語り合っていました。全て盛況のうちに終了することができました。